

へこたれない大人に

校長

新年を迎え、早いもので1か月が経ちました。子どもたちは、毎朝「おはようございます」と元気に挨拶をして登校しています。遠くから、私よりも先に大きな声で挨拶する子や目を合わせてしっかり会釈をする子。校門で子どもたちを迎えている時、冷たい空気に明るい声と笑顔があふれると私の心もほっと温かくなります。

さて、私たちは子どもの自立を目指して教育をしていますが、一番に身に付けさせたい力は何なのでしょう。それは、どんな困難にあっても「へこたれずに、たくましく生き抜いていく力」ではないか・・・と最近、強く感じます。

経ら たく 闘		へこたれない力の強さと、	
験れに 闘に 敵		子どもの頃の経験との関係	
た 闘		へこたれない力	
多い	多い	強い 35.4%	中間 48.2
多い	少ない	30.9	51.6
少ない	多い	20.1	48.6
少ない	少ない	10.3	52.9
			弱い 36.7

2年前の独立行政法人「国立青少年教育振興機構」の調査で、“子どもの頃に周囲に褒められた経験が多い人ほど、大人になってから困難な状況に直面しても「へこたれない」傾向にある”ことが分かったというのです。

褒められた経験の多い人ほど「へこたれない」力が強く、褒められた経験と共に厳しく叱られた経験も多ければ、より「へこたれない」傾向が見られたそうです。褒められた経験や厳しく叱られた経験が共に少ない人は、「へこたれない」力をもっとも弱かったというのです。勿論、厳しく叱るだけではダメで、褒めることと叱ることの両方が機能してこそ、「へこたれない」力につながることが上の表からもお分かりいただけるかと思えます。褒められることで、「自分を認めてもらっている」「私は生きる価値のある人間だ」という自己肯定感と、「頑張ればできるんだ」という自己効力感が高まり、失敗しても挫けず何度でも挑戦できるのでしょう。子どもたちにきちんと向き合い、褒めるべきところは大いに褒め、悪いところはしっかり叱る。子どもへの無関心や放任がよくないのは、言うまでもないことです。子ども一人ひとりの良さに目を向けながら、「褒めることと鍛えること」を大切にしていきたいと思えます。

☆ ご寄付に感謝いたします

保護者の会より、バザー収益金の中から£2,052.87をご寄付いただきました。その一部をテント購入費用に充てさせていただきます。

保護者の皆様のご厚意に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

平成31年度に向けて

学校では、1年間を振り返り、学校評価の結果を基に新年度に向けての準備を進めているところです。各教科等時数の確保に努めながら、英国ロンドンにある利点を生かした体験活動や英語教育など特色ある教育活動の充実を図ってまいります。以下、次年度の取組をいくつかお示いたします。

1 学習指導の工夫・改善

「自ら学び、深く考え、ともに高め合うことができる児童生徒の育成」を校内研修テーマとした研究授業の充実を図り、「授業のめあてがわかる」「今日やるのがわかる」「どれだけできたかわかる」の3つの「わかる」を大切に、子どもの視点に立った「わかる授業」の構築に努めます。

2 心の教育

フレンドリー活動や現地校交流等、人と人の交流を大切に、豊かな心を育む学校行事の充実を努めます。また、学校教育活動全体をとおして「時を守り 場を清め 礼を正す」ことを大切に、礼儀やマナーを身に付けさせる指導を行います。

3 体力の向上

朝・中休み・昼休み・プレイタイムなど遊びや部活動について時間と場所を確保します。体育の授業では、継続的な体力づくりの取組や新体力テスト後の凹部分の改善・補強に取り組みます。

4 英語教育

小学部英語・中学部外国語B（英会話）の授業では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4つの領域をバランスよく育てる授業の充実を努めていきます。また、クラス編制については、英語力判定テスト等をもとにクラス分けを行うとともに、随時ミーティング等で一人ひとりの到達度について情報を共有し、児童生徒の実態に応じて弾力的に行ってまいります。

☆ 教職員についてのお知らせ

1月から、垣内麻里事務員が着任していますのでお知らせいたします。

☆ 保護者用トイレについてのお知らせ

Ofstedからの指導で、補習校教職員室の隣のトイレを保護者用トイレといたします。こちらをご利用ください。

「いのちと夢のコンサート」



12月20日(木), 合唱作曲家の弓削田健介さんをお招きし, 進路講演会を行いました。弓削田さんは主に小・中学校で歌われる合唱曲を作曲する仕事をしていて, 「しあわせになれ」「図書館で会いましょう」などの代表曲があります。また, 学校を対象とした「いのちと夢のコンサート」という講演を12年連続で年間150回以上行っている大変人気のある作曲家でもあります。

今回の講演では, 歌詞に込められている想いや, 弓削田さんがホスピスや被災地などに元気を届けるために行っている取組などについて説明してくださいました。その中で, 実際に沢山の歌を聞かせてくださいました。学校では少し前から各クラスの帰りの会で「図書館で会いましょう」を練習していたので, 弓削田さんと一緒に歌えたことは児童生徒にとってかけがえのない大切な思い出になったようです。講演後に書いた児童生徒の感想には, 「歌を聞いて心が温かくなりました。」「話を聞いて歌詞や名前に込められた想いを考えるきっかけになりました。」などを書いて児童生徒が多く, 大変有意義な講演会となりました。

職場体験学習



中学部第2学年は, 1月17日(木)・18日(金)の2日間, 日本食材店, 幼稚園, 航空会社, 運送会社, 人材派遣会社などの17事業所にご協力いただき, 職場体験学習を実施しました。

1・2学期は, イギリス国内の職場で活躍されている方々を講師にお招きし, 「仕事において大切なこと」や「仕事のやりがい」などについて実体験を交えた講演をしていただきました。そして, 講演をきっかけに自分の将来について考え, 仕事への興味関心を高めて職場体験を迎えました。

体験当日は, 商品の品出し, 封書の袋詰めなど, 仕事内容は事業所により様々ですが, どの体験先でも真剣な面持ちで作業に取り組む生徒の姿がありました。生徒の感想には, 「よく行くお店でも, 様々な工夫や心配りがなされていることがわかった。」「お客様だけでなく一緒に働く仲間のことを考えることも大切だと教えてもらった。」など, 実際に体験したりお話を聞いたりして, 初めてわかる新しい気づきがたくさん書かれていました。学校の外に出て「働く」という貴重な体験を通して感じたことや学んだことを, 今後の生活に生かしてほしいと思います。

フレンチ校訪問

6年生は, 1月18日(金)にフレンチ校を訪問しました。フレンチ校では, 4つのグループに分かれて授業を受けました。「Theatre in English」では, 日本とフランスの歌手や偉人になりきって, 英語や日本語, フランス語で会話をする活動を行いました。最初は照れていましたが, 日本語と英語を使ってコミュニケーションをとる姿が見られました。「Craft(創造画)」では, 自分の描きたいことを想像しながら自由に絵を描きました。

「Craft(シールド)」では, デザイン例をもとに, 自分だけのシールドのデザインを考えました。そして, 絵の具を使ってきれいに色を塗っていき, オリジナルのシールドを作ることができました。

「Eiffel Tower」では, 線をつないでエッフェル塔を作り, カラフルに色を塗っていきました。できあがった作品にみんなからサインをもらい, 楽しそうに交流していました。



活動中に, フレンチ校の児童に名前を聞いたり, 「上手!」と褒めたりするなど, 積極的にコミュニケーションをとり, 交流する姿が見られました。

大切な命を守るために～第4回避難訓練～



1月21日(月)の昼休みに, 第4回避難訓練を実施しました。今回の訓練のポイントは, 「児童生徒に, 事前に訓練のこと(内容・時間)を予告していないこと」, 「児童生徒が, 休み時間にその場で放送を聞いて, 指示に従って冷静に行動できるかどうか」です。

訓練は, 家庭科室より出火したことを想定して行いました。授業時間外ということで, 校舎内・図書館・校庭・体育館など, いろいろな場所で過ごしていた児童生徒たちは, 教職員の指示や放送を聞いて, バasketコートまで避難をしました。訓練の後に, 在英日本大使館の方々より, 児童生徒の避難の様子や実際に火事起きたときの行動の仕方などについて, 講話をしていただきました。訓練中に落ち着いて行動することができていたことを高く評価していただきました。しかし, 実際の火事では, 炎や煙が出るので冷静な行動が難しいということ, そのために普段から非常時に備えておくことの大切さを教えていただきました。今回の訓練での反省や教えていただいたことを生かし, 非常時に落ち着いて行動することができる児童生徒を育てていきます。